



米沢市報道資料

山形大学工学部建築・デザイン学科学生による
有機EL照明＋有機太陽電池＋瓦リサイクル
活用デザイン作品展の開催について

令和6年5月31日
商工課工業労政担当

電話 0238-22-5111
(内線：4103)

下記のとおり、山形大学工学部建築・デザイン学科学生による講義・演習の成果及び、有機エレクトロニクス関連製品等の展示を行いますので、展示内容を広く市民に周知するため、取材及び報道の御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 展示の名称

「山形大学工学部建築・デザイン学科学生による
有機EL照明＋有機太陽電池＋瓦リサイクル活用デザイン作品展」

2 概 要

山形大学工学部建築・デザイン学科では生活環境への創造的な提案解決能力の習得を目的として「インダストリアルデザイン」の講義を開講しており、2023年前期の講義・演習において「有機EL照明＋有機太陽電池＋瓦リサイクル活用デザイン」の提案作品の制作に取り組んだことから、このたび、同大学工学部の研究事例とともに作品の展示を行うもの。

(担当教員：山形大学非常勤講師 秋葉 圭史 氏)

3 主 催

公益財団法人やまがた産業支援機構

4 日 時

令和6年5月29日（水）～6月11日（火）（閉庁日を除く）

5 場 所

市役所1階 市民ホール

山形大学工学部 建築・デザイン学科 学生による

有機 EL 照明 + 有機太陽電池 + 瓦リサイクル 活用デザイン作品展

山形生まれの「有機 EL 照明」は、人や環境にやさしく、自然な色の再現に優れた“次世代のあかり”として注目されています。有機 EL 照明のパネルには、「面全体が光るから目にやさしい 薄くて軽くて曲げられる 発熱が少なく紫外線が出ない」という特徴があり、最近では眩しさが少なく良質な睡眠につながるとの研究結果も出されています。

「有機太陽電池」は、地球温暖化対策として再生可能エネルギー拡大を目指す中、中核を担う太陽光発電の新たな方式です。現在主流のシリコン系太陽電池と異なり「低コスト化、薄型・軽量、デザイン性（透明性・カラフル性）」などの特徴を持つことから、将来市場で大きなインパクトが期待されています。

「瓦リサイクル」は、家屋の解体や葺き替えで生じた廃瓦の再利用に向けた取り組み。山形県でも低炭素社会に貢献する「ごみゼロやまがた」を実現するために、廃瓦を適正に利用する資源循環システムの確立を目指しています。

山形大学工学部建築・デザイン学科では、生活環境への創造的な提案解決能力を習得することを目的に「インダストリアルデザイン」の授業を行っています。2023 年前期に行われた講義・演習では、学生がデザイン思考を発揮して、「有機 EL 照明+有機太陽電池+瓦リサイクル 活用デザイン」の提案を行いました。このたび、提案作品を展示しますので 是非ご覧ください。

会 期：2024年5月29日（水）～ 6月11日（火）8:30～17:15

会 場：米沢市役所（米沢市金池 5-2-25） 1 階 市民ホール

主 催：公益財団法人やまがた産業支援機構

担当教員：山形大学工学部 秋葉圭史 / 非常勤講師

